

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	795 研究指定校支援事業									
予算科目	01-100102-22 学校教育研究支援に要する経費					担当部課	教育局学び推進課			
市長公約						係名	学びの改革推進係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	04質の高い教育をみんなに			

事業の概要

対象	教職員
目的	指導法や教材の開発、教職員の資質の向上を図り、児童生徒の学力を向上させる。
概要 (取組内容)	市教育局で教育研究のモデル校を指定し、指導法や教材の研究開発に対し指導・助言をする。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	1,160	1,240	1,554	1,204	1,204	
	決算額	(千円)	1,014	953	607	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,014	953	607	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,907	8,356	9,816	8,356	8,356	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.10	1.15	1.30	1.15	1.15
		正職員時間外勤務	(時間)	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	研究校（学園）の指定数（校）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	5.0	5.0	2.0	4.0	4.0	4.0
	実績	5.0	2.0	2.0	4.0	4.0	4.0
	指標の概要	市教育局で教育研究のモデル校を指定し、指導・助言する。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		桜学園、豊里学園で11月に研究発表会を実施した。2年間の研究の取組について、市全体から参観者を招いて、探究的な学びの実践的な研修の機会となった。 また、竹園学園、みどりの学園義務教育学校を、新たに研究指定校とし、令和7年度の研究発表に向けて研究に取り組んでいる。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	796 教職員の各種研修事業									
予算科目	01-100102-22 学校教育研究支援に要する経費					担当部課 係名	教育局学び推進課			
市長公約							学びの改革推進係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	04質の高い教育をみんなに			

事業の概要

対象	教職員									
目的	教職員の資質及び指導力の向上を図り、児童生徒の学力向上を目指す。									
概要 (取組内容)	つくばの学び研究発表会を開催 市教育局主催の各種研修講座に講師を招き、研修を実施 先進的な取組をしている自治体や文部科学省主催の研修会等への視察研修を実施									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	1,739	1,834	176	134	134	
	決算額	(千円)	1,186	1,219	51	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,186	1,219	51	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,573	7,126	8,534	7,817	7,817	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.75	1.00	1.15	1.10	1.10
		正職員時間外勤務	(時間)	190.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	教職員の各種研修への参加数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0
	実績	1,264.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0
	指標の概要	各種研修講座（総合教育研究所主催の研修も含む。）への参加教職員数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		つくばの学び研究発表会を開催し、子供を主語にした探究的な授業について共有した。 市教育局主催の各種研修講座に講師を招き、研修を実施し、教職員の授業力向上につなげた。 先進的な取組をしている自治体や文部科学省主催の研修会等への視察研修を実施し、他自治体の取組等を共有した。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	799 学習指導助言事業									
予算科目	01-100102-22 学校教育研究支援に要する経費					担当部課 係名	教育局学び推進課			
市長公約							学びの改革推進係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	04質の高い教育をみんなに			

事業の概要

対象	教職員
目的	教職員の資質の向上を図る。
概要 (取組内容)	各学園学校の実態と発達段階に応じ、各教科領域の指導目標を達成するために効果的な指導方法について共に考え、適切に助言する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0
	内 訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,204	6,944	11,110	9,949	9,949
	内 訳	正職員従事割合	(人)	0.95	0.90	1.40	1.30
		正職員時間外勤務	(時間)	300.00	300.00	400.00	400.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	訪問学校、幼稚園数 (校)				
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	目標値	0.0	0.0	61.0	61.0	63.0
	実績	0.0	0.0	61.0	61.0	63.0
	指標の概要	市内幼稚園15園及び市内学校50校（小学校32、中学校14、義務教育学校4）の訪問学校数				

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		これまでの計画指導訪問の実施方法を見直し、各学校の課題解決や教育目標達成のための効果的な訪問支援の形として、訪問日を軸にした継続した伴走支援を行うつくばの学び推進訪問を実施し、複数回の訪問を計画的に行うようにした。訪問日程は、学校運営の管理のための訪問との調整を図り円滑に実施した。
成果		継続的な伴走支援を行うつくばの学び推進訪問を計画的に実施できた。また、学校からの個別課題に関する相談を受け訪問支援する要請訪問も実施した。児童生徒の自己決定による自律的な学びや校内での共同立案による授業づくりの実施などに重点を置いた訪問指導を実施し、教育大綱の理念実現のための授業改善が図れた。
課題	業務	市内50校で抱える課題がそれぞれ異なることによる、訪問のための準備時間の不足
	組織、予算等	特になし
改善目標		各種訪問に、より丁寧に対応するための効果的、効率的な訪問支援の在り方を検討する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	800 学校教育指導方針の作成事務									
予算科目	01-100102-22 学校教育研究支援に要する経費					担当部課	教育局学び推進課			
市長公約						係名	学びの改革推進係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	04質の高い教育をみんなに			

事業の概要

対象	市教職員									
目的	つくば市の教育方針について、市の教職員や視察者に示す。									
概要 (取組内容)	つくばの学び推進方針を作成する。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業費	予算額	(千円)	220	414	0	0	0
	決算額	(千円)	210	0	0	0	0
	内 訳	一般財源	(千円)	210	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,604	2,291	2,753	2,982	2,982
	内 訳	正職員従事割合	(人)	0.35	0.30	0.35	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	90.00	90.00	90.00	90.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	学校教育指導方針の作成部数 (冊)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,500.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0	0.0
	実績	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	0.0	0.0
	指標の概要	市立学校勤務の教職員に配布する各年度のつくば市学校教育の指導方針をまとめた冊子の作成部数 (※令和5年度よりデータによる配布に変更)					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		つくば市教育大綱、つくば市教育振興基本計画等に基づき、つくば市の教育における重点項目について再構成を行うとともに、つくば市としての教育の方針であることを示すため、名称を「つくばの学び推進方針」と改めた。 「探究的な学び」についての内容を増やし、授業づくりに役立つようにした。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	801 研究奨励助成事業									
予算科目	01-100102-22 学校教育研究支援に要する経費					担当部課	教育局学び推進課			
市長公約						係名	学びの改革推進係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	04質の高い教育をみんなに			

事業の概要

対象	学校
目的	主体的で先進的な取組の学校を支援することで、市内学校の教育力の向上を図る。
概要 (取組内容)	自主的・組織的に研究に取り組もうとする学校に研究奨励費を助成し、研究の支援を行う。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	575	575	575	575	575	
	決算額	(千円)	371	597	597	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	371	597	597	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2, 117	1, 455	362	346	346	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0. 30	0. 20	0. 05	0. 05	0. 05
		正職員時間外勤務	(時間)	30. 00	30. 00	0. 00	0. 00	0. 00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	奨励校数 (校)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	実績	0.0	0.0	4.0	3.0	5.0	4.0
	指標の概要	先進的な教育に関する研究に主体的に取り組む研究奨励校の数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		竹園東幼稚園、竹園西小学校、二の宮小学校、研究学園中学校の4校に研究奨励費を助成した。教えから学びへ、管理から自己決定へ、非認知能力の再認識等をテーマとして、各幼稚園、各学校の課題の解決に向けた研究を実践し、教育力の向上を図った。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	802 小中一貫教育推進事業									
予算科目	01-100102-22 学校教育研究支援に要する経費					担当部課 係名	教育局学び推進課			
市長公約							学びの改革推進係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	04質の高い教育をみんなに			

事業の概要

対象	児童・生徒									
目的	子供の成長の連続性の保障を実現する。									
概要 (取組内容)	効果的な経営・運営方法や学習・生徒指導等について、適切に助言する。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	280	82	111	127	127	
	決算額	(千円)	133	16	100	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	133	16	100	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	12,580	11,700	9,056	8,671	8,671	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.70	1.55	1.15	1.15	1.15
		正職員時間外勤務	(時間)	410.00	410.00	300.00	300.00	300.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-									
企画・立案、計画	-									
実行	-									
評価、検証	-									

指標の推移

1	指標名	研究指定発表校 (校)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	実績	0.0	2.0	0.0	2.0	2.0	2.0
	指標の概要	市教育局で教育研究の指定モデル校を指定し、毎年2つの学園で発表を実施。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		本年度は、主体的に学び、表現する力を高める指導の在り方についてキャリア教育の視点を取り入れた研究を豊里学園で、また、自ら学ぶ意欲をもち、考えを深め合う児童生徒の育成について課題設定と単元構成を工夫する研究を桜学園で行い、それぞれの特色を生かした小中一貫教育の成果を市内全小中学校、義務教育学校で共有した。また、個別最適な学びや協働的な学びを展開することができた。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	803 弁護士によるいじめ防止授業実施事業									
予算科目	01-100102-22 学校教育研究支援に要する経費					担当部課 係名	教育局学び推進課 心の支援係			
市長公約										
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制				
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	04質の高い教育をみんなに			

事業の概要

対象	児童・生徒
目的	いじめ行為が及ぼす影響を児童生徒が理解し、いじめを起こさない学級・学年・学校づくりに資する。
概要 (取組内容)	法の専門家である弁護士から、原則学級に対して1人の弁護士を依頼し、専門的視点からのいじめ防止のための授業を行う。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	506	632	696	696	696	
	決算額	(千円)	553	632	696	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	553	632	696	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	755	2,836	1,159	1,109	1,109	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.40	0.15	0.15	0.15
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	いじめ防止授業実施数 (コマ)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	40.0	32.0	32.0	32.0	40.0	44.0
	実績	40.0	32.0	32.0	32.0	40.0	44.0
	指標の概要	弁護士によるいじめ防止授業					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		申込学校数が多数のため、予算を拡充して実施した。
成果		前年度の実施授業数から4コマ増の44コマの授業を実施した。授業後の児童生徒アンケートで「いじめ問題に真剣に向き合うことができた」などの感想が多数寄せられ、弁護士がいじめの法的な側面や加害・被害の心理を具体的に伝えることで、児童生徒がいじめを深く考える機会となった。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	希望学校数に対応できていない。より多くの学校への対応が必要。
改善目標		少しでも希望する学校に対応できるよう、弁護士と相談しながら、対応可能な授業数と予算を検討する。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	804 学校生活総合質問調査委託事業									
予算科目	01-100102-22 学校教育研究支援に要する経費					担当部課	教育局学び推進課			
市長公約						係名	心の支援係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	一部委託			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	04質の高い教育をみんなに			

事業の概要

対象	児童・生徒									
目的	調査をとおして、支援を必要とする児童生徒の状況を把握し、学級経営等に活用する。 また、結果については、各学校から保護者や児童生徒にも面談等で伝え、今後の支援体制を共有する。									
概要 (取組内容)	市内各学校の4年生～9年生を対象に質問紙方式による学校生活状況・意識調査を実施するとともに、包括的に調査・分析実施する。 市全体の把握は教育局で行い、各学校における学級・学年の状況分析や、支援が必要な児童生徒の把握・支援等については学校が行う。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	6, 149	6, 198	6, 490	8, 353	8, 353	
	決算額	(千円)	5, 281	5, 353	5, 456	0	0	
	内 訳	一般財源	(千円)	5, 281	5, 353	5, 456	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2, 761	2, 109	2, 206	2, 109	2, 109	
	内 訳	正職員従事割合	(人)	0. 40	0. 30	0. 30	0. 30	0. 30
		正職員時間外勤務	(時間)	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	学校生活アンケート実施児童生徒数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	14,233.0	14,233.0	14,233.0	14,233.0	14,233.0
	実績	0.0	13,643.0	13,531.0	13,716.0	13,848.0	14,125.0
	指標の概要	市内各学校4年生～9年生対象の学校生活等のアンケートを実施する。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		児童生徒一人一人の実態把握に役立てるとともに、面談等で保護者等と共有することができた。 今後も学級・学年経営や生徒指導における個別支援に役立てる期待ができる。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	811 学校司書配置事業（旧名称：学校図書館司書教諭補助員配置事業）									
予算科目	01-100102-27 学校教育指導に要する経費					担当部課	教育局学び推進課			
市長公約						係名	学びの改革推進係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	04質の高い教育をみんなに			

事業の概要

対象	児童・生徒、配置する補助員									
目的	児童生徒の学校図書館利用や読書活動の活発化を図る。									
概要 (取組内容)	司書教諭は、学級担任や教科担当と兼務であるため、学校司書を配置し、児童の読書環境を整えていく。 学校司書の主な業務は、貸出、選書、整備等である。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	146	154	80	134	134	
	決算額	(千円)	0	41	86	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	41	86	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,479	3,527	4,411	4,217	4,217	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.50	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	－
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	学校司書配置数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	33.0	49.0	49.0	49.0	51.0	56.0
	実績	33.0	49.0	49.0	49.0	51.0	56.0
	指標の概要	貸出、選書、整備等を実施する学校司書の数。学校司書は、市内全小学校及び中学校、義務教育学校に配置している。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		業務に関するアンケート結果、業務内容などを踏まえ、配置基準を見直し、勤務日数を多くした。また、児童数が多い学校には、複数人の学校司書を配置し、業務量に対応した配置に努めた。研修については、研修の回数を増やし、必要な知識・技能を習得する機会の充実に努めた。
成果		教員と連携して各教科の学習内容に合わせた図書資料の提供や授業での活用方法の提案などを行い、より効果的な授業展開が可能となった。また、選書やブックトークなどを通して、児童生徒が様々なジャンルの本に出会う機会が増え、読書の質が向上した。また、オンラインツール（Teams）を活用して、各校の取組や課題の共有がより円滑に行えるようにした。
課題	業務	学校司書の研修の充実 学校司書の業務に対する勤務形態の検討
	組織、予算等	特になし
改善目標		研修内容を検討し、専門性を高める研修の充実を図る。 業務に関するアンケート調査を実施し、勤務形態について継続して検討していく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	学校司書の業務に対する適切な勤務日数及び時間にするため。

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	812 理科支援員等配置事業									
予算科目	01-100102-27 学校教育指導に要する経費					担当部課 係名	教育局学び推進課			
市長公約							学びの改革推進係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	04質の高い教育をみんなに			

事業の概要

対象	児童・生徒、配置する支援員									
目的	小学校及び義務教育学校前期課程の理科教育の活性化及び一層の充実を図るとともに、小学校及び義務教育学校教員の理科指導力の向上を図る。									
概要 (取組内容)	研究者や教員のOBなど理科が得意な人材（理科支援員）を小学校及び義務教育学校に派遣（5、6年生における理科授業の観察・実験等の準備、実施支援、後片付け等の支援を行う。） 1日3時間1学級につき35時間、175学級（小学校32校と義務教育学校4校の理科支援員36人）で実施。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	301	11, 888	13, 288	14, 746	14, 746	
	決算額	(千円)	91	11, 460	13, 221	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	91	9, 355	10, 977	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	2, 105	2, 244	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3, 820	4, 217	5, 133	4, 908	4, 908	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0. 55	0. 60	0. 70	0. 70	0. 70
		正職員時間外勤務	(時間)	30. 00	30. 00	30. 00	30. 00	30. 00
		会計年度任用職員有無	(一)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	理科支援員配置数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	33.0	33.0	33.0	33.0	35.0	36.0
	実績	33.0	33.0	33.0	33.0	35.0	36.0
	指標の概要	小学校に配置する理科支援員数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		観察・実験の準備や片付け、理科室や理科準備室の環境整備を充実して行うことができた。教員と支援員の協力により、理科授業における観察・実験を行うことができ、活動を充実させ、学習内容の定着を図ることができた。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	813 派遣指導主事の配置事業									
予算科目	01-100102-16 指導主事に要する経費					担当部課 係名	教育局学び推進課			
市長公約							学びの改革推進係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	04質の高い教育をみんなに			

事業の概要

対象	教職員									
目的	市の学校教育における諸問題の調査・研究、教職員の研修、教育情報の収集や学校・地域への発信、教育相談、各学校や園への指導・助言を組織的に推進し、市の学校教育の一層の充実と振興を図る。									
概要 (取組内容)	学び推進課に派遣指導主事(総合教育研究所・教育相談センター・特別支援教育推進室兼務を含む。)を配置し、学校運営の指導や各教科の指導・研究及び科学教育事業等を行う。 学校生活での不安や悩みなど、教育上生じる様々なことについての児童生徒・保護者からの相談に対応する。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	96,673	96,674	96,221	96,599	96,599	
	決算額	(千円)	95,449	94,918	92,736	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	95,449	94,918	92,736	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,433	2,812	2,218	2,121	2,121	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.35	0.40	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	学校訪問回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	150.0	150.0	150.0	150.0	150.0	150.0
	実績	163.0	153.0	142.0	167.0	171.0	405.0
	指標の概要	つくばの学び推進訪問（市内全50校）、研究指定校訪問、要請訪問、生徒指導訪問、生徒指導訪問、日本語指導加配校訪問等					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		指導主事を2名増員し、増加する業務に対応した。 また、課内業務を整理し、不要な業務・効率化できる業務を検討や、業務の実施方法の見直しなどを行った。
成果		つくばの学び推進方針に基づくつくばの学び推進訪問をはじめとした、学校及び幼稚園への各種訪問により、教職員の資質向上に向けた指導助言が実施できた。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	814 学校教育指導員の配置事業									
予算科目	01-100102-27 学校教育指導に要する経費					担当部課	教育局学び推進課			
市長公約						係名	学びの改革推進係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	04質の高い教育をみんなに			

事業の概要

対象	市立幼稚園、小・中学校、義務教育学校教職員
目的	学校教育指導員を配置し、学校教育及び幼稚園教育の充実及び振興を図る。
概要 (取組内容)	教員からの学校運営に関する相談や保護者からの学校への要望等に対し、迅速かつ的確なアドバイス等ができるように、専門的な知識をもつ「学校教育指導員」を任用する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,114	740	1,495	1,431	1,431
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.45	0.10	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(一)	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	学校・幼稚園訪問回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	61.0	61.0	315.0	315.0	315.0	365.0
	実績	72.0	300.0	300.0	350.0	558.0	585.0
	指標の概要	教員からの学校運営に関する相談や保護者からの学校への要望等に対し、迅速かつ的確なアドバイス等を行うために学校・幼稚園を訪問する回数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		学校教育指導員を1名増員し、教員に対するケアや支援の機会を増やすことができた。
成果		学校訪問を実施し、学校経営、学級経営に関する相談や保護者、児童生徒への対応について、的確にアドバイスをを行った。また、学校に定期的に訪問することにより、児童生徒及び教職員が相談しやすい関係を築くことができた。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	136 不登校児童生徒支援事業									
予算科目	01-100102-28		不登校児童生徒学習支援に要する経費					担当部課	教育局学び推進課	
市長公約	17						係名		心の支援係、教育振興係	
戦略プラン					新規・継続					新規
					事業分類					自治事務（任意）
					事業体制					一部委託
個別計画	つくば市の不登校に関する児童生徒支援の在り方							事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし							SDGs	04質の高い教育をみんなに	

事業の概要

対象	児童・生徒									
目的	不登校児童生徒等に対し、社会において自立的に生きる基礎を培うための選択肢の充実を図る。									
概要 (取組内容)	不登校児童生徒支援施設に対する事業費補助や、支援施設を利用する児童生徒に対する利用料補助など、経済的な支援を行う。また、教室に行けない又は行きにくい児童生徒に対しては、学校の空き教室を活用して、生徒の相談や教育指導を行う専任職員を配置した校内フリースクールを整備し、学校内にも学びの場を保障する。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	0	107, 400	81, 998	61, 756	61, 756	
	決算額	(千円)	0	59, 994	77, 870	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	59, 994	73, 256	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	4, 614	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	9, 446	11, 087	9, 567	9, 567	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0. 00	1. 35	1. 50	1. 35	1. 35
		正職員時間外勤務	(時間)	0. 00	50. 00	100. 00	100. 00	100. 00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	校内フリースクールの開設学校数 (校)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	23.0	50.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	23.0	50.0
	指標の概要	教室に入りづらいまたは居づらい児童生徒に対して、学習支援や落ち着いて過ごせる居場所である校内フリースクールを開設しているつくば市立の学校数。					

2	指標名	民間不登校児童生徒支援施設事業費補助金交付件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	6.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	4.0
	指標の概要	つくば市内にある民間不登校児童生徒支援施設のうち、不登校児童生徒への支援を充実するために、同補助金の交付を受けた施設数。					
3	指標名	民間不登校児童生徒支援施設利用者支援交付金交付実人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	107.0	121.0
	指標の概要	民間不登校児童生徒支援施設からの支援を受けた不登校児童生徒のうち、交付金の交付により利用料の経済的負担が軽減できた人数。					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		前年度の事務作業の問題点等から、作業工程を整理し、事務の効率化に努めた。 年3回の民間施設利用者交付金の申請状況を参考に、次の申請数を予測と事務処理の準備を進めた。 市内児童生徒が利用する新たな支援施設の状況把握に努めた。
成果		校内フリースクールを市内全小中学校及び義務教育学校に開設し、教室に入れない又は居づらい児童生徒に対する居場所を設けた。 民間不登校児童生徒支援施設利用者支援交付金により、施設利用の経済的負担を軽減した。 公設のここにご広場を運営し、民間事業者のノウハウをいかした支援を行った。
課題	業務	校内フリースクールに係る会計年度任用職員の任用及び管理や民間施設への補助金及び同利用者への交付金の申請受付、交付及び支払処理等の事務量の増大。
	組織、予算等	事務量に対する対応人員の不足
改善目標		組織体制の見直しを検討する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	861 つくばスタイル科の振興										
予算科目	-		-							担当部課	教育局学び推進課
市長公約									係名	学びの改革推進係	
戦略プラン	Ⅱ-6	1	1	つくばスタイル科による環境教育						新規・継続	新規
										事業分類	自治事務（任意）
										事業体制	職員のみ
個別計画	特になし									事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし									SDGs	04質の高い教育をみんなに

事業の概要

対象	市内小中学校等の児童・生徒									
目的	つくばの未来を担い、国際社会で活躍できる人材を育成する。									
概要 (取組内容)	「環境」「キャリア」「歴史・文化」「健康・安全・防災」の4単元を9年間の系統性を図りつつ、つくば21世紀型能力を身に付ける。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0
	内 訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,362	1,036	1,084	1,036	1,036
	内 訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.15	0.15	0.15
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	SDG s シール各学校参加率 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	実績	0.0	97.0	97.0	98.0	100.0	100.0
	指標の概要	(個別施策Ⅲ-2-①個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む学校教育の創出) 環境問題など課題解決を提案するSDG s シール各学校参加率					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		科学技術戦略課や生涯学習推進課、社会福祉協議会、危機管理課、環境政策課等と連携し、「環境」「キャリア」「歴史・文化」「健康・安全・防災」のそれぞれの単元について、学習する内容について方向性の確認及び見直しを行った。つくばスタイル科単元プラン集及びつくばスタイル科実践事例集を作成し、各校に共有した。これらを活用して、発信型PBLを実践し、つくば21世紀型能力の育成を図った。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	721 主体的・協働的な学びの推進										
予算科目	-		-							担当部課	教育局学び推進課
市長公約	16								係名	学びの改革推進係	
戦略プラン	Ⅲ-2	1	1	主体的・協働的な学びの推進					新規・継続	新規	
									事業分類	自治事務（任意）	
									事業体制	職員のみ	
個別計画									事業期間	毎年度	
									SDGs	04質の高い教育をみんなに	
根拠法令等											

事業の概要

対象	児童・生徒、教員
目的	児童生徒が能動的に協働しながら自ら問いを立て、解決する力を身に付ける。
概要 (取組内容)	教科学習・つくばスタイル科等での探究的な課題解決学習を推進するとともに、そのための環境整備を目指す。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	681	2,072	4,336	5,871	5,871
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.30	0.60	0.85
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	つくばスタイル科のワーキンググループへの参加人数 (人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
	実績	0.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
	指標の概要	つくばスタイル科における探究的な課題解決学習を推進するための単元等を見直し、次年度の計画を立てるグループに参加している人数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		つくばの学び推進訪問に向けた伴走支援を行い、探究的な学びの単元計画の作り方や魅力的な課題の設定等について伝える機会が増え、授業にいかせる場面が増えた。
成果		市が推進する「探究的な学び」や「子供に委ねる学び」を、児童の実態に合わせて工夫しながら効果的に展開される授業が増えた。一斉授業による画一的な学びではなく、個別、双方向的な学びが学校現場に浸透してきた。
課題	業務	自由進度学習の実践において、学習環境の整備が十分ではなく、学びにつながっているのか疑問が残る場面が多くあった。
	組織、予算等	特になし
改善目標		授業改善を目的とりたつくばの学び推進訪問とそれに伴う伴走支援を実施することで、児童生徒を主語にした探究的な学びの更なる浸透を図る。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	797 つくば市サイエンスキッズリーグ事業									
予算科目	01-100102-22 学校教育研究支援に要する経費					担当部課 係名	教育局学び推進課			
市長公約							学びの改革推進係			
戦略プラン	Ⅲ-2	1	3	科学教育の推進と批判的思考の育成			新規・継続	継続		
							事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	職員のみ		
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
						SDGs	04質の高い教育をみんなに			
根拠法令等										

事業の概要

対象	児童・生徒
目的	児童生徒の理科教育・科学教育への興味関心を高め、国際的な科学オリンピック等にも積極的に参加し活躍できる人材を育成する。
概要 (取組内容)	科学について市内児童生徒が1チーム3人のチーム戦で筆記による共通課題へ取り組み、決勝リーグで実験実技の競技（サイエンスキッズリーグ）を開催する。 児童生徒の理科教育・科学教育への興味・関心を高め、「科学の甲子園」や国際的な科学オリンピック等にも積極的に参加する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	335	335	335	335	335	
	決算額	(千円)	0	265	265	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	265	265	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,310	3,351	3,501	3,351	3,351	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
		正職員時間外勤務	(時間)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	サイエンスキッズリーグへの参加校数 (校)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	45.0	45.0	45.0	45.0	48.0	50.0
	実績	24.0	0.0	0.0	0.0	19.0	19.0
	指標の概要	(個別施策Ⅲ-2-①個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む学校教育の創出) サイエンスキッズリーグに参加する学校数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		今年度は、市内小中学生147名（小学生105名、中学生42名）が予選会に参加し、科学に関する様々な問題にチームで取り組み、協働する大切さ、科学のおもしろさや楽しさを体験することができた。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	793 協働的な遊びや様々な体験の充実									
予算科目	01-100102-25 幼保小連携教育推進に要する経費					担当部課	教育局学び推進課			
市長公約						係名	学びの改革推進係			
戦略プラン	Ⅲ-2	3	1	協働的な遊びや様々な体験の充実			新規・継続	継続		
	Ⅲ-2	3	2	幼保小連携の推進			事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	職員のみ		
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	04質の高い教育をみんなに			
							10人や国の不平等をなくそう			

事業の概要

対象	幼稚園教諭、教職員									
目的	子どもたちの資質・能力や非認知能力を育むための研修を通して、保育者の指導力や専門性を高める。幼保小の架け橋プログラムをとおして幼保小の円滑な接続や連携の充実を図る。									
概要 (取組内容)	子どもの非認知能力を向上させる研修を実施し「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識した保育法について知見を深める。 幼保小の交流を計画的に実施し異年齢との関わりを通して様々な体験活動の充実を図る。 アプローチ、スタートカリキュラムを通して円滑な幼保小の接続や幼保小の情報交換の充実を図る。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	495	525	540	540	540	
	決算額	(千円)	490	467	500	0	0	
	内 訳	一般財源	(千円)	490	467	500	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,022	2,418	2,891	2,763	2,763	
	内 訳	正職員従事割合	(人)	0.15	0.35	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	非認知能力を向上させるための研修を受けた幼稚園教諭の数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	16.0	16.0	16.0	16.0	15.0	15.0
	実績	16.0	16.0	16.0	16.0	15.0	15.0
	指標の概要	非認知能力向上研修を実施し、各園から1名の参加とする。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		保育施設・学校間における幼児や児童の交流を実施する動きが見られ、保育内容や学習内容の共有を図ることができた保育施設・学校が多かった。また、保育施設と小学校、義務教育学校とで合同の研修会を市で企画し、協議を通して保育内容を教員間で共有する機会を設けた。
成果		学びの推進訪問時に、異学齢交流の在り方や環境構成・支援の工夫について指導・助言し、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿や非認知能力の育成を推進した。学び推進訪問時の幼稚園の保育を小中学校の教員が参観する学園も増加する等、指導方法の共有を図り幼保小の連携を深めた。
課題	業務	保育施設・学校間における幼児・児童間の交流の実施 教員間の相互授業参観や、研究協議の実施
	組織、予算等	特になし
改善目標		非認知能力の育成を目指した研究・研修の推進 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の具体的なイメージの共有と見取り方に関する研修

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	805 国際理解教育推進事業									
予算科目	01-100102-23 国際理解教育推進に要する経費					担当部課	教育局学び推進課			
市長公約	30					係名	心の支援係			
戦略プラン	Ⅲ-3	1	2	国際理解講座や文化交流事業の開催		新規・継続	継続			
	Ⅲ-3	1	3	日本語支援体制の充実		事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
	特になし					SDGs	04質の高い教育をみんなに			
根拠法令等										

事業の概要

対象	児童・生徒、ボランティア市民									
目的	異なる文化や考え方を尊重する態度を育む。									
概要 (取組内容)	日本語学習支援においては、日本語の理解が十分でない児童生徒が学習や生活に支障がなく適応できるようにするための支援が必要である。 また、国際理解集会については、児童生徒の多文化理解を促進するために、各学校または学園単位で国際理解集会等を実施し、外国の文化や考え方に体験的に触れる機会を設けている。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	5,014	5,450	5,112	5,334	5,334	
	決算額	(千円)	3,704	3,451	3,972	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	3,704	3,451	3,972	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,589	4,241	5,519	5,277	5,277	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.10	0.60	0.75	0.75	0.75
		正職員時間外勤務	(時間)	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	国際理解集会実施校数 (校)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	33.0	33.0	33.0	33.0	35.0	36.0
	実績	33.0	0.0	0.0	0.0	35.0	36.0
	指標の概要	(個別施策Ⅲ-3-①多様性をいかした社会の推進) 小学校及び義務教育学校（前期）で実施する。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		日本語学習支援員を新たに会計年度任用職員として任用し、日本語学習支援が必要な児童生徒の支援を行った。
成果		国際都市推進課の講師派遣や、ワールドキャラバン派遣を活用するなど、各学校の実態に応じた創意工夫ある集会を実施することができた。複数学年にまたがって開催するなど、多くの児童が集会に参加できる取り組みも見られた。 日本語学習支援員や日本語学習支援ボランティアにより、より多くの日本語学習の支援ができた。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	日本語学習の支援が必要な児童生徒が増えており、ニーズに対して支援が十分ではない。
改善目標		日本語学習の支援ニーズに対応できるようにする。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-